

◆ 電子決裁率100%に向けた取り組み

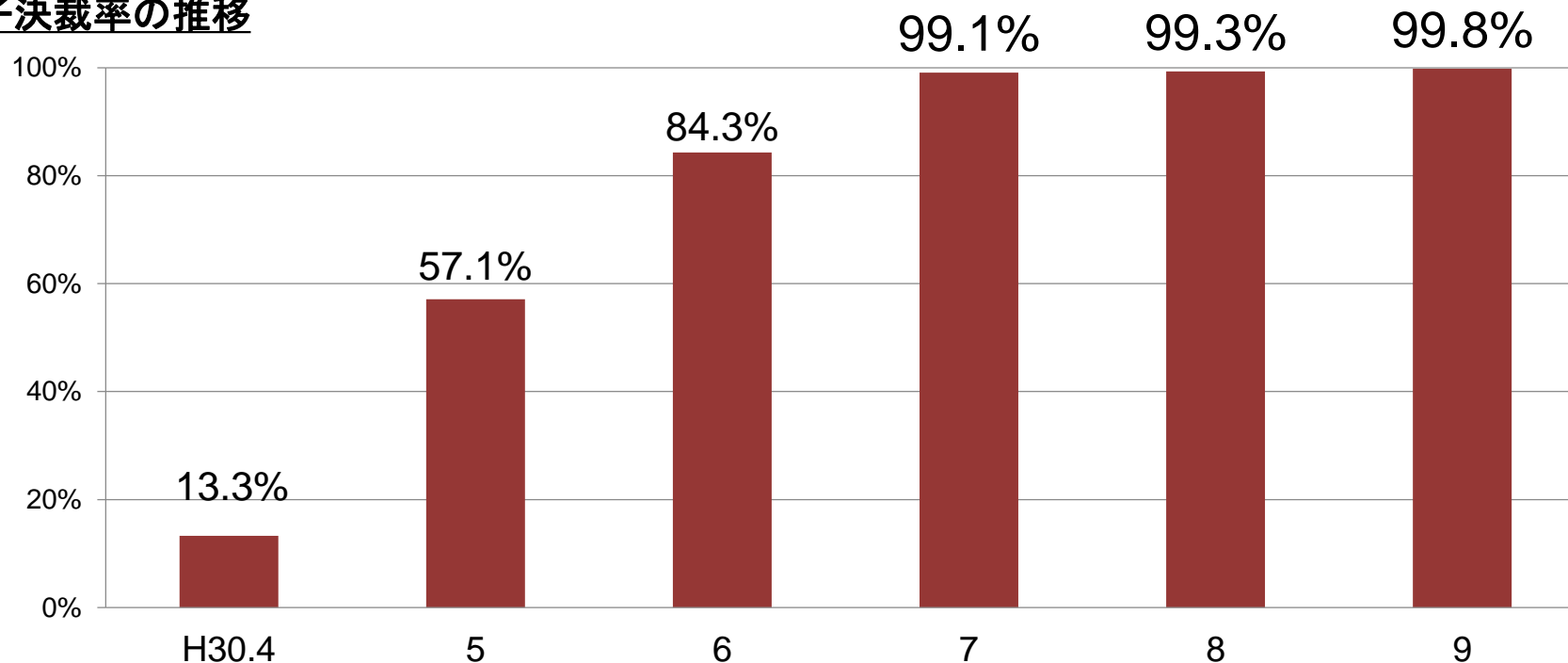
◆ メリット

- ①行政文書の改ざん防止
- ②文書の検索効率の向上
- ③ペーパーレス化
- ④テレワークの促進
- ⑤省スペース化

◆ 具体的な取組

- ・ 庁内への電子決裁率100%に向けた取組の徹底
- ・ 電子決裁システムに添付する書類の電子化については、決裁のために必要最小限なものに厳選
- ・ 各所属での業務に応じた工夫
(例：紙の申請書は、起案前に紙のままチェック)

◆ 電子決裁率の推移



◆ RPA導入に向けた「実証実験」(H30年度)

- 実証実験を行った4業務において、**約80%から90%の業務時間の削減効果**があった。
- 他部局へ横展開することで、更なる効率化を図ることが可能

	予算配分業務 (教育庁)	国民健康保険 書類チェック業務	水産試験場漁獲 情報システムデータ取込	県立高校旅費 申請代理登録	合計
削減金額(年)	636,000円	3,215,708円	1,571,250円	217,854円	5,640,812円
削減時間(年)	254時間 (1.59)	1,759時間 (10.99)	629時間 (3.93)	126時間 (0.88)	2,768時間 (17.30)
削減率(%)	77.7%	86.2%	90.7%	90.0%	86.2%
処理種別	抽出・登録	抽出・照合	収集・仕分	抽出・登録	

◆ RPA本格導入 (H31・R1年度)

- 現在、事業担当課からのヒアリングを行い、導入業務を選定中。
- 今年度は、20業務に本格的に導入予定。